

令和7年10月31日

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

令和7年度 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラムの採択

京都市及び公益財団法人京都市芸術文化協会では、伝統芸能文化創生プロジェクトの一環として「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」を実施しています。

この度、今年度応募があった8件を審査した結果、1件を採択しました。今後、採択した事業について共同プログラムとして実施します。

1 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラムとして採択した申請

件名	申請者等名	内容
六斎念仏ほか民俗芸能で使用する鉦すりのリサーチと実演家による道具製作の模索・発信プロジェクト	千本六斎会（京都府） 代表：吹田哲二郎	鉦すりの製作を取り巻く環境の変化や、安定的な供給体制の維持が課題となる中で、鉦すりを使用する各芸能の担い手が集まり、仕様や材料、入手方法、所有形態、供給の状況などを共有する場を設けるなど、道具に関する課題を調査する。 また、実演家が鉦すりを修繕・製作していく可能性についても模索し、製作手法を幅広く発信することで、民俗芸能の道具製作者への支援につなげていくことも目指す。

2 審査会委員

（敬称略、五十音順）

氏名	役職等
井口 はる菜	関西外国語大学外国語学部准教授
久保田 裕道	東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長
小林 昌廣	一般社団法人「日々の哲学」代表理事
武内 恵美子	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授
永山 富男	京都市産業技術研究所プロジェクト推進室副室長
平賀 徹也	京都市文化芸術政策監
松岡 薫	天理大学人文学部歴史文化学科准教授
吉田 純子	文化庁文化財第一課芸能部門文化財主任調査官

【伝統芸能文化創生プロジェクトについて】

平成23年度に京都市が策定した「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）基本構想」に掲げるセンターに備えるべき機能の実現を目指すプロジェクト。伝統芸能文化に関する保存・継承・普及等の総合的な観点から、伝統芸能文化を取り巻く課題の改善に取り組む。本市の伝統芸能文化の活性化を図るとともに、文化庁とも連携し、全国の関係機関とのネットワーク構築を推進することで、日本の伝統芸能文化の振興に取り組み、京都の伝統芸能文化の創生につなげる。

【伝統芸能文化復元・活性化共同プログラムについて】**1 目的**

伝統芸能文化の保存・継承・普及を目的とした活動を支援し、伝統芸能文化を現代に適合した形で復活させることを目指す。

2 特徴

伝統芸能文化に用いられる楽器・用具用品の復元や、古典芸能及び民俗芸能の活性化のための取組を公募により募集し、採択した取組を伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィスと申請者が共同で実施する。

3 本プログラムとして負担する金額

上限額は、1件当たり70万円

4 今年度募集期間

令和7年4月1日（火）～令和7年6月27日（金）

【伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス（Traditional Arts Archive & Research Office 略称:TARO）】

京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会が設置する、上記のプロジェクトを推進するための事務局

【問合せ先】

伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス

住所：〒604-8156

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2 京都芸術センター3階

電話番号：075-255-9600 FAX：075-213-1004

E-mail：taro@kac.or.jp

ホームページ：<http://www.traditional-arts.org/>